仙台市太白山自然観察の森情報誌　2019 年１２月号

No.339

森のおくりもの12月

フジの切り株（マメ科）

今年は台風の影響により、ここ自然観察の森だけではなく、姉妹施設である青葉の森緑地でも沢山の倒木が発生し、伐採作業など職員もその対応に追われた一年でした。私は仕事柄、枯損木や危険木の伐採に携わることが多く、伐採した木の年輪を眺めては、年ごとの成長幅の違いなど、その木の生きてきた年月を思いうかべることがたまにあります。

通常、私たちが頭に浮かべる年輪は輪状の連なりですが、何ごとにも例外はあります。大きく成長したフジは輪状の年輪に加えて、半月状の形成層を作ります。これを多重形成層と呼ぶそうですが、実際に切ってみると何とも摩訶不思議な形をしており、あらためて植物の奥深さを感じます。

皆様には今年どんな年輪が刻まれたでしょうか？【 写真・文　近藤晋也 】

森のことのは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『 時は得難くして失い易し（ときはえがたくしてうしないやすし）』

１１月は天気と気温が目まぐるしく変化し、秋から冬へと変身していきました。こんなに急に変わってしまうの？と思ったほどです。特に感じたのが森の紅葉の様子です。１０月の終わり頃から徐々に始まった紅葉は、気温の低下と共に鮮やかに色づき、自然が織りなす風景に見とれました。紅葉の推移を毎日見ているとそのスピードは意外と早く変化していて、同じ光景はいつまでも続きません。また、昨日までは色とりどりの葉で美しかった場所が、一晩明けたら強風で全て落ちてしまって、その変わりように驚かされました。写真を撮り損ねても以前の景色は取り返せないものだと思いました。

その時に感じた気持ちが「時は得難くして失い易し」という言葉です。「好機はなかなか巡ってこない。たとえ恵まれても油断をしているとすぐ逃してしまう。また、逃した機会は取り戻せないものだから、どんなにわずかでも大切にするべきである。」という意味です。

自然の光景は、時間や天気などの条件によって印象が変わる芸術作品です。これからは霜や雪が作り出すアートも見られる季節になります。冬の素敵な光景に出会い、見逃さないようにしたいです。　　【レンジャー：新田隆一】

１２月の生物ごよみ

日に日に寒さが増し、森の木々たちもすっかり葉を落としました。観察の森では 12 月から 3 月末までセンター裏庭にバードテーブルを設置します。研修室からゆっくりと野鳥を観察できますので是非お越しください。

ほかにも
いろいろな野鳥たちが
集まってきますよ！

バードテーブルにやってくる野鳥たち

キジバト

別名ヤマバト。餌台に上ることはほとんどなく、地面でニワトリのエサなどをついばむ。

33cm/ 留鳥

スズメ

集団でやってきてヒエ・アワなどを食べに来る。ヒマワリの餌台にも来るがうまく食べることが出来ない。

14cm/ 留鳥

カシラダカ

冠羽を逆立てることが特徴。バードテーブルには登らず地面にまいたエサを食べる。

15cm/ 冬鳥

アオジ

バードテーブルにはのらず、地面にまいたエサをついばんで食べる。数匹でやってくる。

16cm/ 留鳥・漂鳥

シジュウカラ

胸の黒い筋が特徴。オスはメスより太い。ヒマワリを食べる。

15cm/ 留鳥

ヤマガラ

オレンジ色のお腹が特徴。見た目で雌雄の区別はつかない。

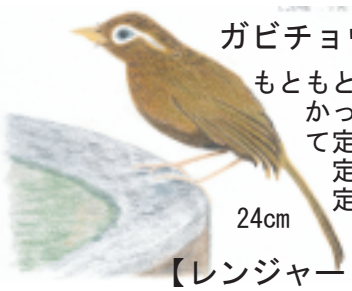
14cm/ 留鳥

ヒヨドリ

バードテーブルを占領し、他の鳥を追い払うこともある。

28cm/ 漂鳥
留鳥

ガビチョウ



もともとは日本にいなかったが篭脱けして定着した鳥。特定外来生物に指定されている。

24cm

【レンジャー：齋　正宏】

※漂鳥　暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。
※留鳥　年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。
※冬鳥　越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。

森の「おとしもの」

その 17 「世界からキノコが消えたなら」

キノコっていったい何者なんでしょうね？気がつけば足元や枯れ木に現れ、色も形もさまざまで可愛いというか不思議な姿。私にはどれも毒キノコに見えてしまします。スーパーには美味しそうなやつが沢山いるのに。

キノコの“胞子”は、植物の“種”みたいなもの。その胞子をつくるための器官があってその中の､「おいしそう～」とか「きれい！」､「毒じゃない⁉」と私たちの目を引くような大きなものを「キノコ」と呼ぶようです。植物でたとえれば“花”でしょうか。

ところでキノコはカビなど菌類の仲間です。菌って「汚い」とか「腐れる」「お腹こわす」とか連想するけど､「酵母」も同じ仲間なんだって！もし食卓から菌類が無くなったら、と妄想してみました。わが家の朝はご飯に味噌汁ですが、味噌はカビ（麹）が無いとつくれません､醤油も同じ。納豆も納豆菌がないとダメ。せめて猫まんま、と思ったらかつお節もカビの力によるものでした。朝ごはんほぼ壊滅です。よしパンを食べよう！でもイースト(酵母)がないとふくらみません。チーズもヨーグルトも菌の力が不可欠です。もう小麦粉と牛乳で生活するしか…いやいや、牛が草から牛乳を出せるのは沢山の菌（微生物）のおかげでした。そういえば私たち人間も腸内細菌のお世話になってるし。というか太白山の山々が枯れ木だらけにならず健康に生きていけるのはキノコ（菌類）のおかげ…あああ。話が地球全体に行く前にページ無くなりました、結論「菌類すごいぜ」【レンジャー：木田秀幸】

カラフルな子も

地味っぽい子も大人気

3 枚目のキノコは別な場所でとりました。
（センターでは採集禁止）
バターソテーして醤油で味をつけると日本酒のつまみに最高。　　あ⁉
菌類が無いとこれも…

森は糸　森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね（*_*）

前回は、太白山自然観察の森の紅葉（赤色）の紹介をしました。そのヤマウルシもメグスリノキもさらに鮮やかに樹木を染め上げていました。今回は、黄色と茶色の紅葉をお伝えしたいと思います。まず黄色。黄色といってもレモンのようなうすい黄色もあれば濃い黄色もあります。黄色は葉にもともと含まれているカロチノイドによる色です。もう一つは、茶色。茶色も紅葉なのと思うかもしれませんが、フロバノイドという物質によって茶色が生まれます。

左がさわやかな黄色の葉をつけているアオハダです。雌雄別株で雌株にはクマが大好物の赤い実をつけます。アオハダは大きな枝に小枝を発達させて葉をつけますが、黄色の葉の柄にも注目してみましょう。真っ白の柄（葉柄）もとてもきれいですよ。葉が落ちると枝に柄の跡（葉痕）が残ります。小枝にできた葉痕の数を数えると年数がわかりそうですね。右は、茶色の葉をつけているホオノキです。鮮やかな、とは言い難いですが立派に紅葉していますね。ホオノキは、観察の森のいたるところで見られます。モクレン科の樹木で葉はとても大きく、芳香があり殺菌作用もあるので、味噌や餅類を包む容器として利用されています。また、ホオノキには他の植物が芽を出しにくくする（他感作用：アレロパシー）物質を周りに出ししているために樹木の周りは大きな木が少なく、ホオノキの落ち葉で覆われています。生き残るための戦略ですね！(^^)！

冬の間多くの植物が休眠に入ります。観察の森では冬枯れの木々の中にスギやアカマツ、アオキなどの常緑樹の緑色が目立ってきます。さて、あんなに賑やかだった森の虫たちは今頃どうしているのでしょう。大好きな葉や花の蜜が極端に少なくなるこの時期、厳しい冬の寒さを乗り切ることができるのでしょうか。虫たちは落ち葉や樹皮の中で成虫や幼虫、卵や蛹など種類によって様々な姿で越冬するのです。上の写真は、センター周辺で目にした、幼虫で越冬するアカスジキンカメムシと成虫で越冬するエサキモンキツノカメムシ、ナミテントウです。冬をうまく乗り切れますように！　【レンジャー：菅原　幸彦】

12月のイベント＆お知らせ

◆12月から野鳥のレストランOPEN！

・12 月 1 日（日）より野鳥のための餌台を設置します。
　あたたかい研修室から鳥たちの姿を間近に観察しませんか？

◆おはよう野鳥かんさつ

・野鳥の会講師の案内で、冬の森で野鳥を観察します。
【日　時】１２月１４日（土）７：００～８：３０【定　員】なし
【持ち物】手袋・帽子など暖かい服装と靴で、（持っていれば）観察用具
【申込み】不要、直接センター前へお越し下さい。
※双眼鏡を無料で貸し出します、免許証等本人確認できる身分証をお持ち下さい。

◆12月～3月のガイドウォークは午前のみの開催です。

・開催時間：10:00 ～ 11:30　お間違いのないようお越し下さい。

◆天候の急変等で安全確認できない時はイベントを中止する場合があります。

毎週日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日：1日、8日、15日、22日

開催時間：10:00～11:30

22 日は観察センター館長がご案内します。

今月のテーマは「初冬の森の楽しみ」

12月の休館日

２日（月）、９日（月）
１６日（月）、２３日（月）

【年末年始】

12 月 28 日（土）より
1 月 4 日（土）まで
休館します。

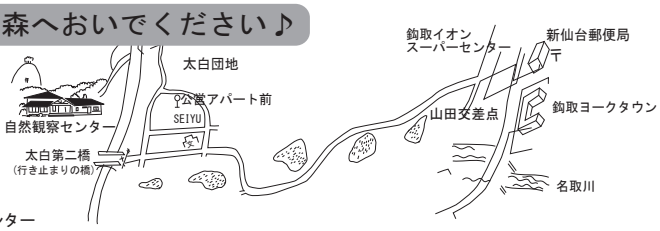
宮城交通バスの場合

① 仙台駅　乗車時間 約40分
② 長町駅東口　乗車時間 約30分
③ 八木山動物公園駅　乗車時間 約10分
〔行先〕①②③ 「太白団地経由山田自由ケ丘車庫行」乗車
（※③のみ乗車可「太白団地, 山田自由ケ丘経由仙台南ニュータウン行」）
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道２８６号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」バックナンバーはWebで！

「杜のひろば」URL：http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html

2019年12月号（毎月1回5日発行）
発　行：(公財)仙台市公園緑地協会
編　集：仙台市太白山自然観察の森　自然観察センター
〒982-0251　仙台市太白区茂庭字生出森東３６－６３
TEL：022-244-6115　FAX：022-244-6133